

NADPZ NEWSLETTER

NOVEMBER 2022



今井アラン先生が3年ぶりにザンビアに戻る



3年ぶりにザンビアに帰ってきた今井アラン先生！ 女性たちは、自作の美しいザンビアの歌を歌いながらエネルギーと活気で彼を迎えました。彼女らは彼の帰国を喜んで彼の乗った車に向かって歩き、一緒に歩いて、彼の家、ザンビアに帰ったこと、彼が多くの人々を変えたザンビアに戻ったこと、そして彼が彼女らを忘れていないことを幸せに思って大声で歌いました。

女性たちはその夜、プロジェクトサイトでキャンプをし、歌ったり、踊ったり、太鼓を叩いたりして夜を過ごしました。翌朝、組合と農民クラブのリーダーたちは、来たる11月から4月の農業シーズンに備えて、自然農法の意義・概要・方法について確認の研修会を開催しました。このセッションには、プロジェクトサイトを初めて訪れた西部および中部州代表の農民も参加しました。

アラン先生は、メイン プロジェクト サイトの学生とデ モ ファーマーを訪問します。



カバタテ職業訓練センター 縫製教室

アラン先生は職業訓練センターの縫製教室で生徒たちの作業を見学しました。生徒たちは制作した看護学校の制服を誇らしげに見せてくれました。制服の品質は非常によくできていて、生徒たちは製品の仕上がりを改善できるように、将来的にかがり縫い機を導入して欲しいとアラン先生に依頼しました。



カバタテ職業訓練センター 大工教室

アラン先生は、大工教室の様子を見学しました。彼はまた、棺、ドア、椅子など、彼らが作った製品のいくつかを見る機会がありました。生徒たちは現在、訓練センターの寄宿舍で使用する二段ベッドを制作していました。大工の先生は、作業をより簡単かつ迅速にするのに役立つ電動工具を入手するための支援を求めました。作られた製品のほとんどは、コミュニティに販売されるか、学校で使用されます。今後のプロジェクトを楽しみにしています。



献身的なデモファーマーとして17年

アグネス・ムチンバは2005年からデモファーマーを務めています。彼女の自然農法への愛と献身は今でも輝きを放ち続けており、自然農法を実践することのメリットを個人的に発見した、私たちの献身的な自然農法農民の1人であり続けています。アグネスのタマネギはとても大きく立派で、彼女は農家の間でタマネギの種を保存する常駐の専門家になっています。この写真では、アラン先生の帰りを迎えるためにプロジェクトの現場を訪れ、ピーナッツとタマネギの収穫を誇らしげに見せてくれました。



アラン今井先生がマウォファコミュニティスクールの先生たちに会いました

2015年に最初に学校を開いたとき、ペンバ地区のマウォファコミュニティスクールの教師を1人確保するのに1年以上かかりました。今日、政府は学校に4人の新しい教師を割り当てました。彼らは現在、ペンバプロジェクトサイトで宿泊施設を共有しています。学校は現在、完全な初等学校になる能力を備えており、受付から7年生までの教育を提供します。



アラン先生は古い学生と新しい学生に会いました

アラン先生がザンビアに来てから3年、2015年の開校から7年になります。開校の際、アラン先生は、5歳のときに幼稚園部に入学した最初の30人の生徒たちに会いました。今日、彼は年長の5年生と近年入学の生徒たちに会います。学校は現在、30人の生徒から120人以上の生徒に成長しています。



プロジェクトスタッフからようこそアラン先生

3年ぶりにアラン先生に会えて、スタッフ一同大喜びでした。彼らは、プロジェクトの場所がいかに美しく手入れが行き届いているかを彼に見てもらいたいととても興奮していました。彼らは彼に建設された新しい建物や構造物を見せて、それぞれの構造物の理由を説明したかったのです。この写真では、私たちのゲストハウスチームが素晴らしい仕事をしているのがわかります。